

# 超簡単オリジナルのプレゼン作成

1. 最初に素材集めとコースを考える
2. テキストで流れを作成
3. 画像を取り込む
4. 背景にオリジナルのデザインを
5. ノート(下段)の活用
6. 仕上げに
7. 画像の圧縮
8. 資料として印刷配布

# 最初に提示する素材を集める

- a. 手書きでプレゼンのコースを考える。
- b. 素材の画像やテキストを考えます。

実際のパワーポイント作成は、aとbができてから。**表現したいものが最初にある**その手段としてパワーポイントを使うという順序。

# テキストで流れを作成

- 「メモ帳」を開き表題および項目を打ち込む
- tabで下部見出しを段下げ
- ファイル名(例:超デモ.txt)をつけ保存
- パワーポイントで保存した上記を読み込む
  - ファイル→開く(すべてのファイル)

以下の2画面を参照してください。

# メモ帳のテキスト作成例(超デモ.txt)

最初の画面

(tab)なんとか

(tab)かんとか

(改行を入れると見やすい。なくてもいい)

2番目の画面

(tab)試行錯誤で

(tab)できあがる

3番目の画面

(tab)tabで項目作成

(tab)(tab)2回tabでさらにさげる

まとめ

(tab)メモ帳を使う

(tab)textで推敲する

# 超デモのテキストをppで読み込む

## 最初の画面

- なんとか
- かんとか

1

## 2番目の画面

- 試行錯誤で
- できあがる

2

## 3番目の画面

- tabで項目作成
  - 2回tabでさらにさげる

3

## まとめ

- メモ帳を使う
- textで推敲する

4

# 画像を取り込む

- ・ 画面や図表があると聞き手にわかりやすい
- ・ 画面は実寸にあわせトリミングと縮小してファイルが大きくなるないように
  - － CRT画面の部分切り取りにはwinshot
  - － Jpg画像は縮専でリサイズ
- ・ 背景色を変える/用意されたデザインを使う

# 背景にオリジナルのデザインを

- Jtrimで背景の図を作成し保存
  - グラデーション→色1,2とも白
  - 不透明度で70%程度にして文字エリアを指定
- (画面上で右クリックまたは書式→背景)  
背景→背景の設定(下段▼)  
→塗りつぶし効果→図

あらかじめ背景は  
準備しておく

# ノート(下段)の活用

- ・ 参考サイトのURLや詳しい解説はノートを使う



# 仕上げに

- ・ 目次作成
  - － スライド一覧表示→範囲指定→目次スライド
  - － 標準表示に戻し目次部分を表紙に修正
- ・ 必要に応じてスライドのアニメ効果を

# 画像の圧縮

- 画像を多用すると保存したファイルが大きいときはファイルサイズを減らす
- PPの実行画面で図の上で右クリック
  - 図の書式設定→図→圧縮 (Web/図にチェック)  
→ドキュメント内にすべての図→ok

# 資料として印刷配布

- プレゼン画面をプリント配布
  - ファイル→印刷→印刷対象[配布資料へ変更]
  - 枚数の指定など調整。  
「用紙サイズに合わせて印刷」にもチェックを入れる  
ると大きく印刷される